

「反芻」

向田邦子さんのエッセイ「反芻旅行」の中に、こんな一節がある。「前の晩にテレビで見た野球の試合なのに、朝必ずスポーツ新聞を買ってたしかめる人を『もったいないじゃないの』と、お金と時間の無駄使いだといったことがあった。その人は、私の顔をじっと見て、『君はまだ若いね』といった。『野球に限らず、反芻が一番楽しいと思うがね』。旅も恋も、そのときも楽しいが、反芻はもっと楽しいのである」。反芻とは、「牛や羊などが一度飲み込んだ食物を胃から口の中に戻し、再び嚙んでからまた飲み込むこと。転じて、言葉や経験についてくり返し考え、よく味わうこと」である。繰り返すことにより味が深まるもいえよう。

今、テレビではWBC優勝のニュースが再三流れる。結果を知っているのに、世界一になった瞬間や、記憶に残る場面の映像を見てしまう。何度見てもいいシーンだ。まさに「反芻」してしまう。

今年度1年間、学校生活の中で思い出したくなるシーンを一つ上げるとすれば、皆さんは何を挙げるか。私は文化祭での合唱のシーンである。この3年間、歌うことがほとんどなかった皆さんが、大きな声で歌っている姿はとても印象的であり、何度も見たくなるシーンだ。とくに3年生の合唱は素晴らしかった。卒業式の答辞の中でも代表生徒が言っていたように、「3年生だから全体をリードしなければならない」といいながら、実際には過去の経験がなく、何も分からないままに取り組んだ。人数も少ない学年なのに立派な歌声を披露した。実際に、閉会式の時に、私はもう一度聞きたくて、そして1、2年生に生の歌声を聞かせたくて、学年合唱を歌ってもらった。突然のリクエスト。でもそれにこたえられる3年生だった。

この学校の良き伝統は、学年進行とともに生徒がしっかりとし、自立してくること。当たり前のようなのだが、そうでない学校も多い。3年生になると、学校生活が乱れてしまう学校もある。1、2年生がこの良き伝統を今後も引き継いでくれることを期待したい。

3月24日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 和が20になる3つの正の整数を考えます。たとえば、4と4と12。このように、和が20になる3つの正の整数の組合せは、全部で何通り考えられますか。